

■パキスタン：チャシュマ原子力、3号機が系統接続

パキスタン原子力委員会と中国核工業集团公司（CNNC）は2016年10月15日、国内4基目の原子炉であるチャシュマ原子力発電所3号機が系統接続したと発表した。3号機は中国製PWR（34万kW）で、2011年3月に着工、2016年10月2日に初臨界に達し、年内に商業運転を開始する予定になっている。チャシュマ発電所では、2000年と2011年にそれぞれ1基（中国製PWR、30万kW級）ずつ運開している。また、1号機（カナダ製CANDU炉、13.7万kW）が1972年に運開しているカラチ原子力発電所では2、3号機に中国の華龍一号（110万kW級）が採用され、2021年と2022年にそれぞれ運開する予定になっている。